

平成28年11月に改正港則法が一部施行され、「雑種船」が「汽艇等」となり、対象範囲が変更されます。

雑種船の名称及び対象範囲の変更 (港則法第3条第1項)

【改正前】

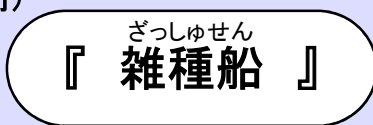
この法律において、「**雑種船**」とは、**汽艇**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。



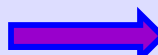
【改正後】

この法律において、「**汽艇等**」とは、**汽艇(総トン数20トン未満の汽船をいう。)**、はしけ及び端舟その他ろかいのみをもって運転し、又は主としてろかいをもって運転する船舶をいう。

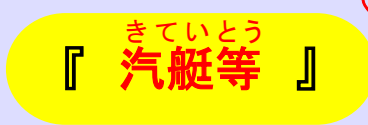
(改正前)



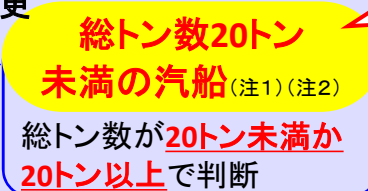
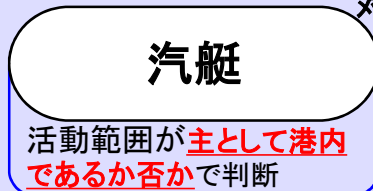
名称の変更



(改正後)



対象範囲の変更



対象がより明確になります

(注1) 「汽船」は動力船の総称です。

(注2) 長さには関係なく、総トン数が20トン以上であれば、「汽艇等」には含まれません。

この改正により、主として港外で活動していた総トン数20トン未満の動力船(プレジャーボート、漁船等)が、港内を航行するときは、「**汽艇等**」となります。

また、主として港内で活動していた総トン数20トン以上の動力船(タグボート、遊覧船等)が、港内を航行するときは、「**汽艇等**」以外の船舶となります。

「汽艇等」、「汽艇等以外の船舶」に適用されるルール等

【新たに「汽艇等」となる船舶に適用されるルール】

・港内での避航義務(港則法第18条)

狭い港内では運動性能が悪く操船範囲が限られる大型の船舶を、操船自由度の高い**小型の船舶**が避けなければなりません。

新たに「汽艇等」となる船



<イメージ>

※主として港外で活動していた総トン数20トン未満

【新たに「汽艇等」以外となる船舶に適用されるルール】

・港に出入する際の航路航行義務(港則法第12条)

・移動の制限(港則法第7条)

・修繕、係船届の届出義務(港則法第8条)

新たに「汽艇等」以外となる船



<イメージ>

※主として港内で活動していた総トン数20トン以上

● なお、義務・免除規定(ルール)の内容については、これまでと変更はありません。

【お問い合わせ先】 ※最寄の海上保安部又は管区海上保安本部にお問い合わせください。

第六管区海上保安本部

交通部航行安全課

今治海上保安部交通課

082-251-5111 (代表)

0898-23-5515